

南信州定住自立圏

共生ビジョン

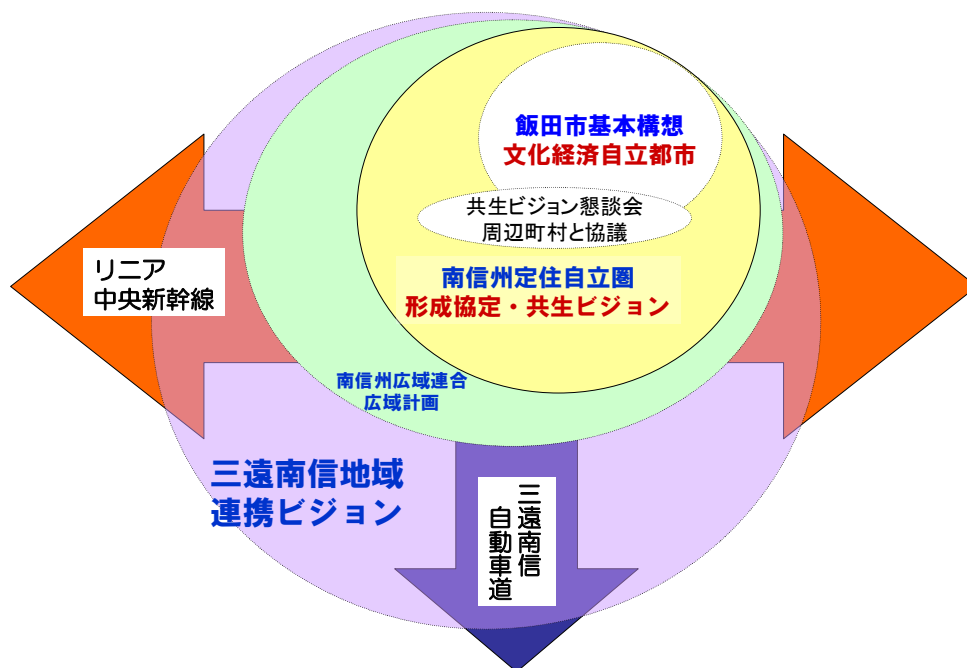
【概要版】

平成 21 年 12 月 24 日

長野県飯田市

共生ビジョンの位置付け

この「南信州定住自立圏共生ビジョン」は、飯田市と周辺 13 町村が平成 21 年 7 月 14 日に締結した定住自立圏形成協定について、定住自立圏推進要綱（平成 20 年 12 月 26 日付総行応第 39 号）に基づき、民間や地域の関係者で構成した「圏域共生ビジョン懇談会」における検討を経て、各周辺町村に関連する部分について当該町村と個別に協議を行ったうえで、飯田市が策定したものです。



共生ビジョン策定までの経過

- ・ H20. 1 定住自立圏構想研究会（飯田市長が委員として参画）
- ・ H20. 5 定住自立圏構想研究会 報告書
- ・ H20.10 先行実施団体に選定される
- ・ H21. 3 定住自立圏構想「中心市宣言」
- ・ H21. 6 定住自立圏「形成協定」の議決
- ・ H21. 7 定住自立圏「形成協定」の締結
- ・ H21. 7 キックオフイベントの開催
- ・ H21. 8 定住自立圏「圏域共生ビジョン」の策定開始
 - 共生ビジョン懇談会3回
 - 周辺町村と関連する部分について協議
- ・ H21.12 定住自立圏「圏域共生ビジョン」の策定

1 定住自立圏及び市町村の名称

定住自立圏の名称	南信州定住自立圏
構成市町村の名称	飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村

2 定住自立圏の将来像

若者達が定着し

多彩な「人財」が将来にわたり往来する

活力にあふれ美しく

心が響き合い

安心して暮らすことができる「南信州定住自立圏」

圏域の状況

- ・ 遠州・東三河・東濃地域と境を接する南信州に位置する。
 - ・ 天竜川や中央アルプス・南アルプスの豊かな水と森林に抱かれ、四季折々の趣が美しい自然環境に恵まれた地である。
 - ・ 古墳時代（5世紀頃）、大和王権とのつながりをもつまでに繁栄するなど ゆかしい歴史を持つ。
 - ・ 畿内と東国を結んだ東山道に始まり、近世には三州街道、遠州街道などの陸運や天竜川の水運が発達し、今日では JR 飯田線や中央自動車道など、いつの時代においても交通が結節する地域にあり、経済・文化が栄え、発展してきた。
 - ・ 多種多様な人やモノ、情報が行き交う中で、人々はそれらと交流し、進取の精神と学究性に富んだ創造力により、独自の文化、産業を醸成してきた。
 - ・ 戦後まもなく遭遇した飯田市街地の大火、昭和 36 年及び同 58 年の豪雨大災害などの苦難を乗り越えながら、人々の心や地域には「自主自立の精神」と「結いの精神」が、しっかりと根付いている。
 - ・ 暮らしの中には、神楽・人形浄瑠璃・歌舞伎・屋台獅子などの伝統芸能が今も連綿と息づいており、当地域は日本の民俗芸能の宝庫と称されるとともに、さらに、人形劇フェスタに象徴される新たな文化を創造している。
 - ・ 水引をはじめとする伝統産業は今なお地域経済の一翼を担い、農林業は水稻・養蚕から果樹・畜産・菌茸類・野菜等へと転換を図りつつ、森林資源を守り生かしながら、体験教育旅行を中心とした独自のグリーンツーリズムに取り組むとともに、製造業では国内トップクラスを誇る先端技術開発に挑戦するなど、今も新たな付加価値の創造が続いている。
- 人々は、このような文化的・経済的な基盤を共有する中で、特徴ある住民自治を展開し、飯田市を中心とした独立的・一体的な圏域を形成してきた。

圏域の将来像

- ・ 将来を展望したとき、日本の総人口は急速に減少し、地方圏のみならず三大都市圏の人口まで減少していく厳しい情勢にある中で、地方分権の推進により基礎自治体の責任範囲が拡大してくることは明白であり、今後、市町村の見識と行動力が一層求められる時代となる。
 - ・ こうした中、当地域が長野県の南の玄関として取り組んできた三遠南信地域の連携が新たな段階を迎え、また、三遠南信自動車道の伸展やリニア中央新幹線の具体化など、当地域は、日本の東西あるいは南北の交流・連携の要として、新たな飛躍が期待されている。
 - ・ このような状況を踏まえ、われわれは、南信州圏域が持続可能な地域としてあり続けるために、三遠南信自動車道の伸展やリニア中央新幹線の具体化による影響に適切に対応しつつ、先人から受け継いだ「山のくらし」「里のくらし」「街のくらし」が渾然一体となって織りなす多様性あふれる魅力を大切に育み、次の世代へと確実に引き継いでいかなければならない。
- われわれは、この地に**若者達が定着し、多彩な「人財」が将来にわたり往来する、活力にあふれ美しく、心が響き合い、安心して暮らすことができる南信州定住自立圏**を構築していこうとするものである。
- ・ 構成市町村は、住民が日常生活文化圏を共有していることを踏まえ、圏域を一体的に経営していく必要性を再認識する。そして、互いの独自性を尊重しながら連携を一層強化する中で、共通課題の解決と圏域活力の再興・創造に向けて対等の立場で協働し、着実にこれを実行することで、地域政府としての責務を果たしていこうとするものである。
 - ・ 市と町と村は、相互に役割を分担する中で、定住のための機能を高め、豊かで多様なライフスタイルを提案できる魅力ある圏域を創りあげ、内外の人々を惹きつける地として、地方生活圏の新しい姿を創出していくものである。

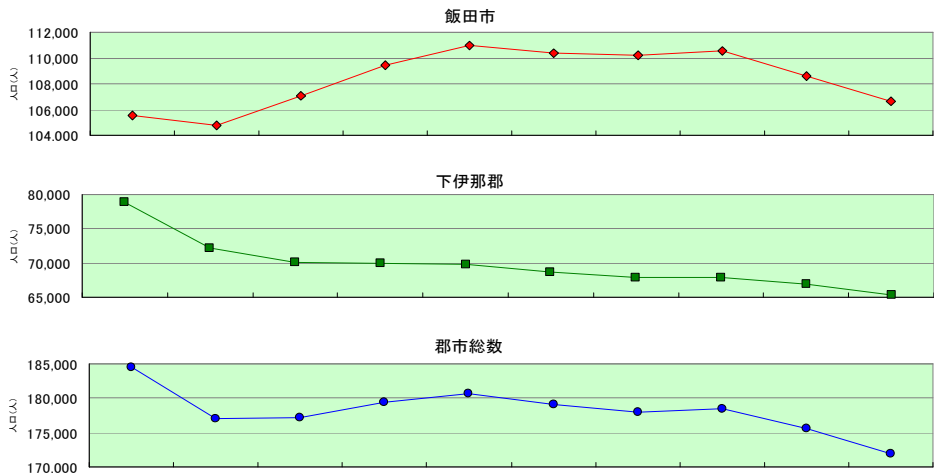
市町村の役割分担

- ・ 飯田市は、圏域全体を視野に入れ、定住に必要な都市機能の整備・提供や生活機能の確保・充実に努めるとともに、豊かで多様なライフスタイルを提案しつつ圏域への人材誘導を強力に推進し、さらに「環境モデル都市」としての先駆的な取り組みを実践していく。
- ・ 一方、各町村は、生活機能の確保・充実や交流機能の整備・提供に努めるとともに、人々にとって欠くことの出来ない自然環境の保全や文化の保持・向上を図るなど、当地域が有する「多様性」を守り磨くことにより、圏域の魅力づくりと一体感の醸成にそれぞれが役割を果たしていく。

3 定住自立圏共生ビジョンの期間

共生ビジョンの期間	平成 21～25 年度の 5 年間 ただし、毎年度所要の変更を行う。
-----------	---------------------------------------

南信州圏域の人口動態



	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H20
飯田市	105,548	104,789	107,093	109,465	111,009	110,402	110,204	110,589	108,624	106,630
下伊那郡	78,937	72,197	70,086	69,997	69,754	68,636	67,810	67,803	66,899	65,336
郡市総数	184,485	176,986	177,179	179,462	180,763	179,038	178,014	178,392	175,523	171,966

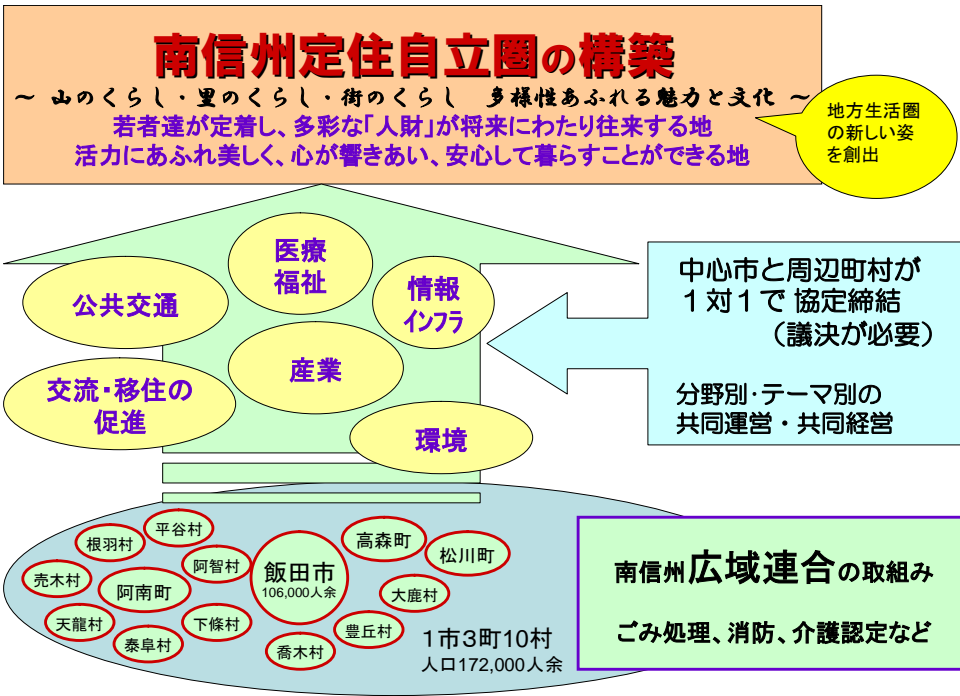
資料：国勢調査

当圏域は、文化的・経済的な基盤を共有する中で、特徴ある住民自治を展開し、飯田市を中心とした独立的・一体的な圏域を形成してきましたが、将来を展望したとき、地方圏のみならず三大都市圏の人口まで減少していく厳しい情勢にあります。

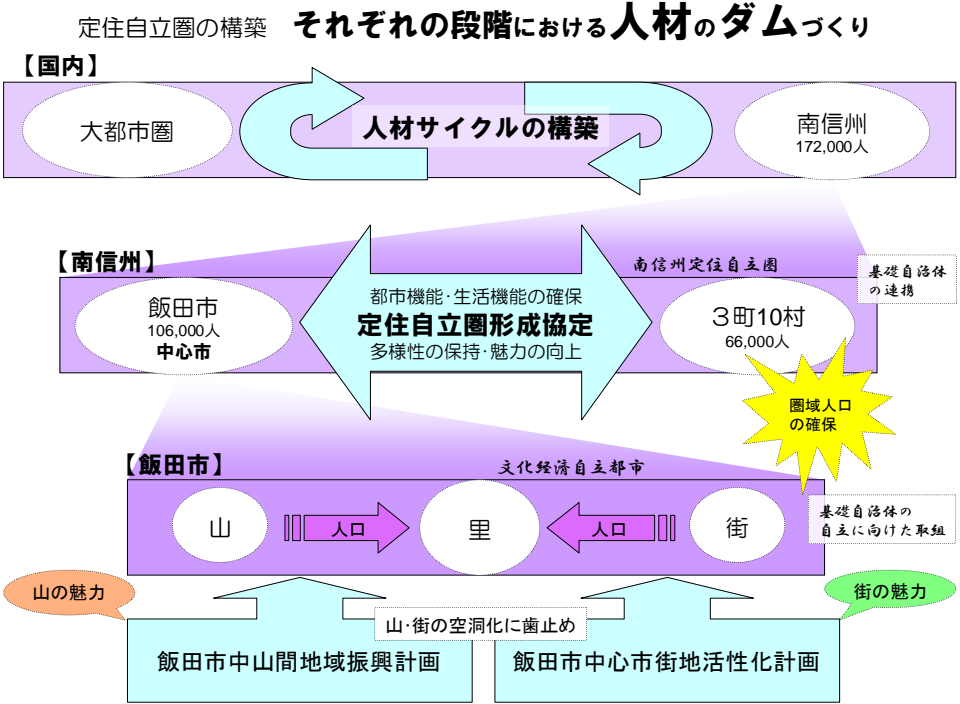
「人材のサイクル」の構築



当圏域が持続可能な地域としてあり続けるために、先人から受け継いだ山・里・街の多様性あふれる魅力と暮らしを大切に育み、次の世代へと確実に引き継いでいかなければなりません。そのためには「人材サイクル」の構築(いったん出て行った若者達が帰ってこられる地域づくり。人材ダムと汲上げポンプ)が必要です。



この地に若者達が定着し、多彩な「人財」が将来にわたり往来する(中略)安心して暮らすことができる南信州定住自立圏を目指します。これまで積上げてきた広域連合の取組をベースとして、市と町・村が1対1で協定を締結し、個別のテーマごとに役割分担して取り組みます。



「人材サイクル」を構築し 圏域人口を確保するために、市と町・村が役割分担し、必要な都市機能・生活機能を確保していきます。各市町村内にも中山間地等を抱えており、各基礎自治体の自立に向けた取組が不可欠です。

4 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

ア 医療

圏域内において、良質な医療が安心・安全かつ的確に提供されるように、地域中核病院である飯田市立病院等の機能強化を図るとともに、各病院、診療所及び関係医療機関の連携体制をいっそう強化し、圏域が有する医療資源が効率的に運用される体制の充実を図る。

そのために、飯伊地区包括医療協議会を中心に、医師会、歯科医師会及び薬剤師会と行政などが緊密に連携した取組を行う。

【形成協定】

(ア) 救急医療体制の確保

圏域の救急医療体制を確保するため、休日夜間当番制（社団法人長野県地域包括医療協議会支部飯伊地区包括医療協議会による休日夜間急患診療所の運営、在宅当番医制、病院群輪番制並びに歯科及び調剤当番制）について支援を行う。

(イ) 産科医療体制の確保

圏域の産科医療体制を確保するため、市、町及び村、圏域の医療関係者等で構成する産科問題懇談会を中心に、セミオープンシステム及び共通カルテの運用など、地域の医療機関と連携した取組を行う。

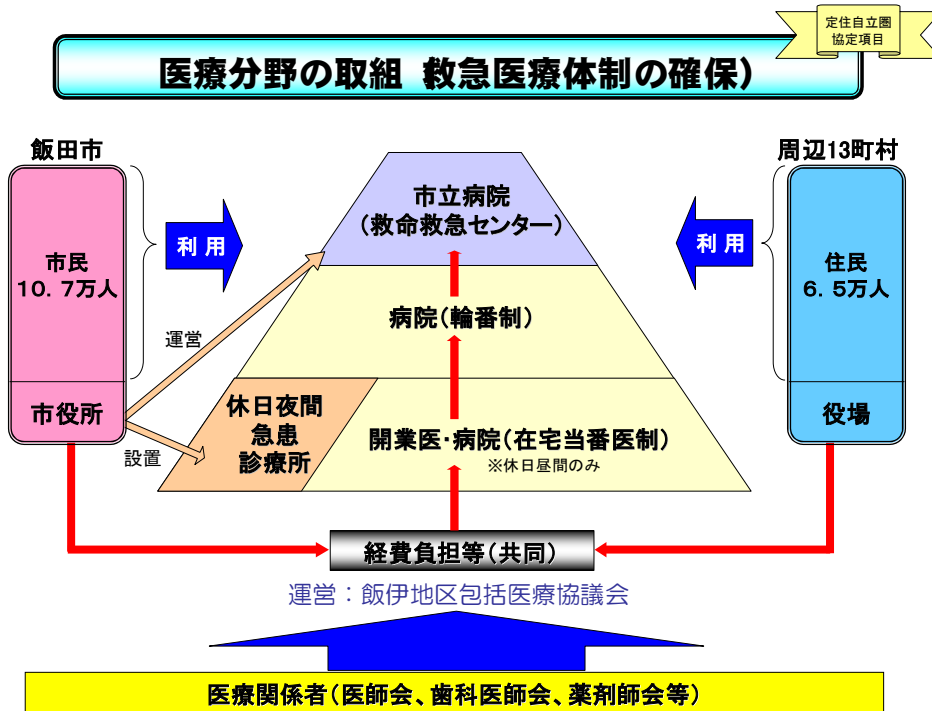
(ウ) 大規模災害医療救護体制の整備

圏域の大規模災害医療救護体制を確保するため、飯伊地区包括医療協議会が策定した大規模災害医療救護計画（医療救護計画）に基づき、医療機関、他町村（町村の場合は「他市町村」）、消防及び自主防災会等と連携して、当該計画の実効性を確保するための取組を行う。

事業名	休日夜間急患診療所の運営	関係市町村名
事業概要	医師会・薬剤師会の参画を得て、飯伊地区包括医療協議会の運営により、日曜日・祝日・盆・年末年始・夜間 365 日の診療等を行う。（設置者は飯田市）	全市町村
成果	休日夜間における病院群輪番制の当番病院の負担軽減を図り、症状に応じた適正な機能分担による休日夜間の診療体制を維持する。	

事業名	在宅当番医制、病院群輪番制並びに歯科及び調剤当番制	関係市町村名
事業概要	医師会・歯科医師会・薬剤師会の参画を得て、飯伊地区包括医療協議会の運営により、日曜日・祝日・盆・年末年始・土曜日午後（在宅当番医制及び調剤当番制は休日昼間のみ）の診療等を行う。 ・飯伊地区包括医療協議会の運営への支援 ・在宅当番医制、病院群輪番制並びに歯科、眼科及び調剤当番制に係る医師待機料の負担	全市町村
成果	各医療機関の負担を平準化し、適正な機能分担による休日の診療体制を維持する。	

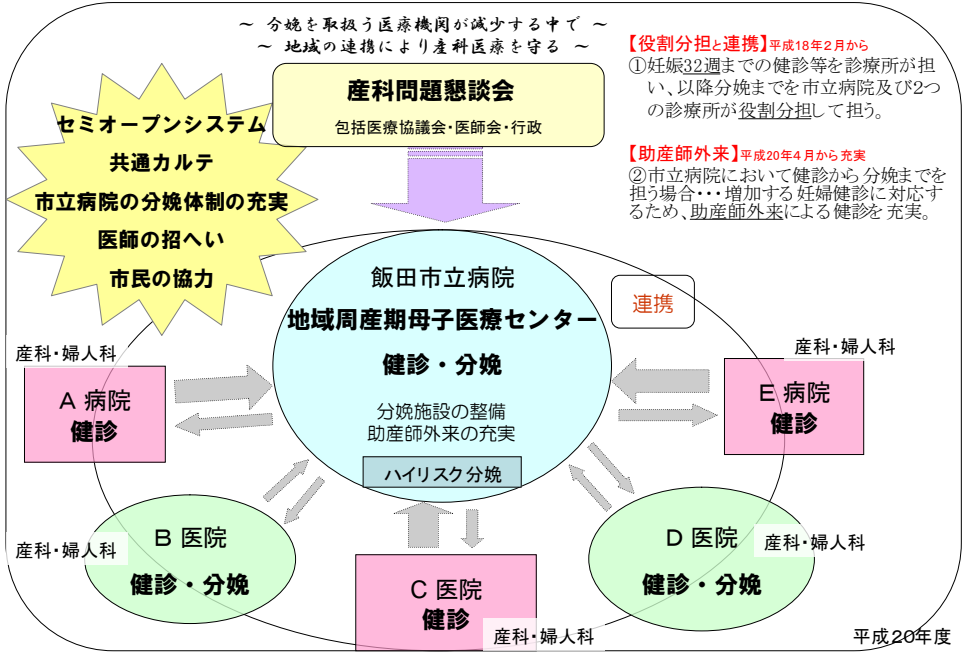
事業名	大規模災害医療救護体制の整備	関係市町村名
事業概要	医療分野における災害対応のための特殊資機材を整備する。	全市町村
成果	医療分野における災害対応のための環境を向上させる。	



医師会・歯科医師会・薬剤師会等で構成される飯伊地区包括医療協議会により、「飯田市休日夜間急患診療所」及び「在宅当番医制、病院群輪番制並びに歯科及び調剤当番制」を運営します。これにより、休日夜間における各医療機関の負担を平準化し、適正な機能分担による診療体制を維持します。

産科医療体制の確保

定住自立圏
協定項目



当圏域の医師数は、全国平均より 20%以上少ない実態にあります。したがって、医師確保の取組とともに、限られた医療資源の中で、病院間、診療所・病院間等の協力体制や役割分担により圏域医療を維持していくことも必要です。

※人口 10 万人当たり医師数：全国 217.5 人、県 198.9 人、当医療圏 169.4 人（H18.12）

産科においては、医師不足により分娩可能な病院・診療所が減少したため、市、町及び村、圏域の医療関係者等で構成する「産科問題懇談会」を中心に、「セミオープンシステム」及び「共通カルテの運用」など地域の医療機関が連携した独自の取組を行っています。

※セミオープンシステム：妊娠 32 週までの健診等を診療所が担い、以降分娩までを市立病院及び 2 つの診療所が役割分担して担うもの。

イ 福祉

圏域住民が、いつまでも元気でいきいきと暮らしていけるようにするために、圏域内の市町村、民間事業者及び住民が連携して、健康的に暮らしていくためのあり方について研究するとともに、それを実現するための仕組みづくりを行う。

【形成協定】

圏域健康計画の策定

圏域住民の健康に関する総合的なマネジメントを行うための計画（圏域健康計画）の作成を行う。

事業名	圏域健康計画の策定	関係市町村名
事業概要	圏域住民が、いつまでも元気でいきいきと暮らしていけるようにするために、圏域内の市町村、民間事業者及び住民が連携して、健康的に暮らしていくためのあり方について研究し、計画を策定する。	全市町村 (当面は飯田市)
成果	圏域住民の総合的な健康（医療や介護を含む）の推進について、市町村、民間事業者及び住民が連携した取組体制の構築を図る。医療費及び介護費の負担軽減にもつなげる。	

ウ 産業振興

定住人口の増加に不可欠な若者が帰ってこられる産業づくりと、中山間地域の振興等を目指して、工業、農業、林業、観光、商業等の各分野が密接な連携を図り、これまで培ってきた知識・技術等の特長及び地域の特性をいかしつつ、地域に根ざし繁栄する産業振興を進める。

【形成協定】

(ア) 地場産業センターの運営等

圏域の産業の中核的な支援機関である財団法人飯伊地域地場産業振興センターの施設及び人材を充実させ、圏域内の企業に対し人材育成、新事業展開、新規創業等の支援を行うことにより、企業の経営及び技術の革新並びに産業クラスターの形成を目指す。

(イ) 鳥獣害防止総合対策

圏域内の山村の機能を保全するため、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成 19 年法律第 134 号）に基づき、甲及び乙が策定した被害防止計画に定めた鳥獣被害防止対策を総合的に進める。

事業名	(財)飯伊地域地場産業振興センターの施設及び人材の充実	関係市町村名
事業概要	圏域の産業の中核的な支援機関である財団法人飯伊地域地場産業振興センター（昭和 58 年設立）の管理・運営を行う。 ・管理費（人件費を含む） ・施設利用事業 地場産業振興を目的に業界及び事業者が研修、会議及び展示会等を開催するための貸館に係る維持・管理等	全市町村
成果	地域産業の振興のための拠点施設及び人材を確保する。	

事業名	(財)飯伊地域地場産業振興センターの人材育成、新事業展開、新規創業等の支援	関係市町村名
事業概要	産業振興事業 ・研究開発、需要開拓、地域ブランド構築及び企業体質強化等 人材育成事業 ・飯田産業技術大学及び産学官連携推進等 ビジネスネットワーク支援センター事業 ・共同（協力）受注、企業間連携、新産業進出、異業種連携等 工業技術センター・EMCセンター事業 ・測定、分析、校正、指導及び相談 産業クラスター事業 ・三遠南信ネットワーク形成、新事業創出支援（航空宇宙 P J）等 南信州産業活性化事業 ・南信州地域ものづくり産業活性化計画の推進	全市町村
成果	人材育成、新事業展開、新規創業等を支援することにより、事業者の積極的な事業展開を促進する。	

飯伊地域地場産業振興センター

～地域のものづくりの明日を拓く中心組織として～

主な企業群

- 精密機械工業系 130社
- 電気・電子工業系 30社
- 食品産業系 160社
- 伝統産業(水引他) 40社

ものづくりの拠点
～飯田独自の事業展開～



- ◆地域産業振興事業
- ◆産業技術大学
- ◆ビジネスネットワーク支援センター
- ◆工業技術センター(各種試験・技術相談)
- ◆EMCセンター(電磁波防止技術関連)
- ◆環境技術開発センター(インキュベーション関連)
- ◆地場産品紹介、販売

自治体

- 長野県
- 飯田市、周辺13町村

支援機関

- 飯田商工会議所
- 商工会連合会

金融機関

- 飯田信用金庫
- 八十二銀行

シンクタンク

- しんきんシンクタンク
- 企業OB

大学・公設試験機関

- 信州大学
- 明治大学
- 長野高専
- 諏訪東京理科大学
- 長野県総合技術センター

域外との結びつきを強める

- 三遠南信ネットワーク
- 浜松商工会議所
- 豊橋商工会議所

テーマ別

- 食農 サイエンス・クリエイト(愛知)
- 航空 中部航空宇宙技術センター(愛知)
- まんてんプロジェクト(神奈川)
- ウィングウィン(岡山)、OWO(大阪)

圏域産業の中核的な支援機関である地場産業振興センターの施設及び人材を充実させ、圏域内の企業に対し人材育成、新事業展開、新規創業等の支援を行うことにより、企業の経営及び技術の革新並びに産業クラスターの形成を目指します。

産官協働による環境産業のダイナミズム創発を目指して

「飯田」発「全国」へ LED防犯灯開発プロジェクト

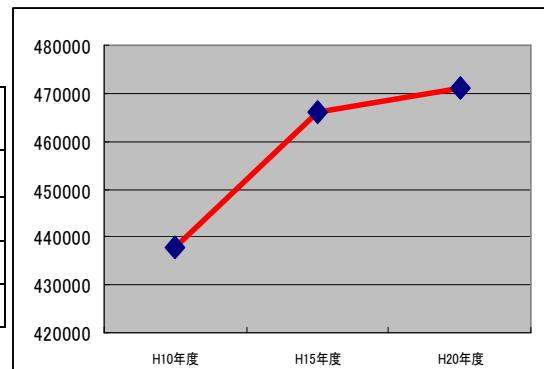


地場産業振興センター内のビジネスネットワーク支援センターが、地元企業集団によるLED防犯等の共同開発を支援し、地域における環境産業の創発を目指している例。

事業名	鳥獣害防止総合対策	関係市町村名
事業概要	<p>山間地及び中山間地のみならず里地にまで及びつつある鳥獣被害について、市町村、猟友会、農協、森林組合など関係団体相互が情報共有を進めるとともに、市町村が防止対策を行う。</p> <p>飯田市の事業例</p> <p>捕獲委託（10千円/捕獲業務1件）</p> <p>捕獲報奨金（シカ15千円/1頭、イノシシ12千円/1頭、サル・クマ6千円/1匹・頭等）</p> <p>檻・罠設置（イノシシ用移動檻、カラス用移動檻、くくり罠等）</p> <p>被害防止犬養成（モンキー犬養成50千円/1頭・6月）</p> <p>里山緩衝帯整備等</p> <p>飯田市座光寺地区と隣接する高森町による有害鳥獣広域捕獲を実施するほか、当面は、連携した取組を試行する。</p>	全市町村
成果	農林業生産の甚大な被害を抑制し、山間地における居留意欲を維持する。	

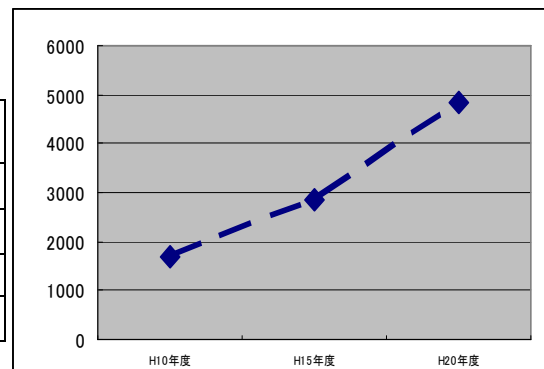
鳥獣被害金額（千円）

年度	地域区分	農業被害	林業被害	総合計
H20年度	飯田下伊那	119,681	351,458	471,139
	内 飯田市	50,032	115,869	165,901
H15年度	飯田下伊那	155,038	310,842	465,880
H10年度	飯田下伊那	118,897	318,743	437,640



主な有害鳥獣の捕獲数（頭・羽）

年度	地域区分	獣類	鳥類	総合計
H20年度	飯田下伊那	4,238	593	4,831
	内 飯田市	1,530	503	2,033
H15年度	飯田下伊那	2,387	446	2,833
H10年度	飯田下伊那	1,173	523	1,696



* 獣類はシカ、イノシシ、サル、クマ、カモシカの合計

* 鳥類はカラスのみ

鳥獣による農作物被害は年々増加傾向にあり、農業者の生産意欲の減退を来しています。

飯田市をはじめ各町村では、猟友会と連携した有害鳥獣の捕獲や、檻、ワナ、電気柵の設置等の対策を講じてきていますが、今後は、これら各市町村における対策に併せ、飯田下伊那が一体となった広域的な対策が必要となっています。

エ 環境

住民の環境に対する意識をさらに高めながら、当圏域の価値と魅力をいっそう向上させるために、地域ぐるみによる環境改善活動をさらに推進するとともに、低炭素社会に向けた先駆的な取組を行う。

【形成協定】

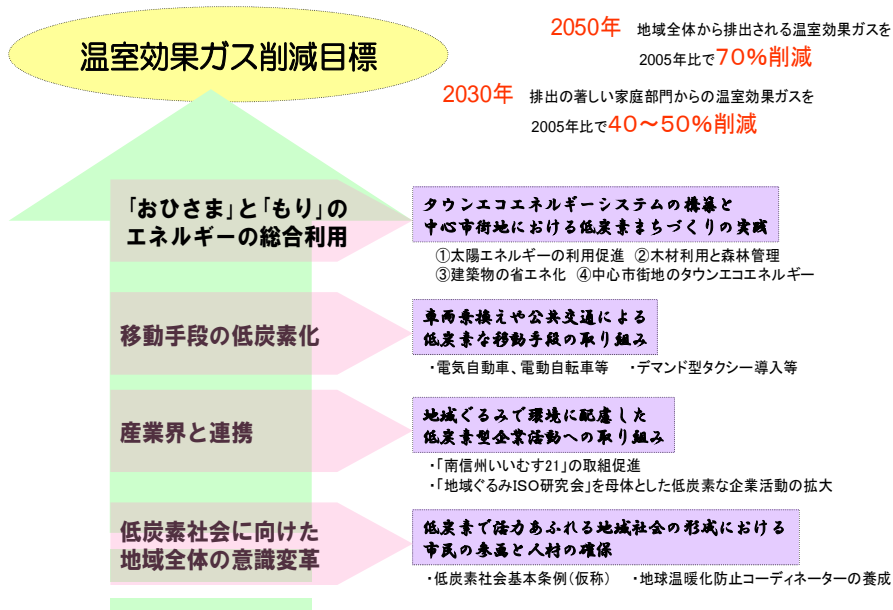
地域ぐるみによる環境関連活動

低炭素社会の構築に向け、地域独自の環境マネジメントシステムである南信州いいむす21など地域ぐるみで行う環境関連活動を推進する。

事業名	環境文化都市及び環境モデル都市の取組の普及拡大	関係市町村名
事業概要	<p>飯田市の環境文化都市及び環境モデル都市の取組について、各町村が必要に応じ、飯田市と連携して、圏域全体への普及拡大を図る。</p> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境モデル都市推進事業 ・環境マネジメントシステム普及事業 ・太陽と森林エネルギー活用推進事業 ・バイオディーゼル燃料実用化事業 ・新エネルギー推進事業 ・省エネルギー推進事業 ・自転車市民共同利用システム推進事業 ・防犯灯LED化整備事業 ・森林整備の促進 ・住民活動に対する支援 	全市町村
成果	飯田市の環境モデル都市の取組を圏域全体に普及することにより、地域ぐるみによる環境改善活動を推進する。	

飯田市環境モデル都市・行動計画概要

定住自立圏協定項目



(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ア 地域公共交通及びICTインフラの整備

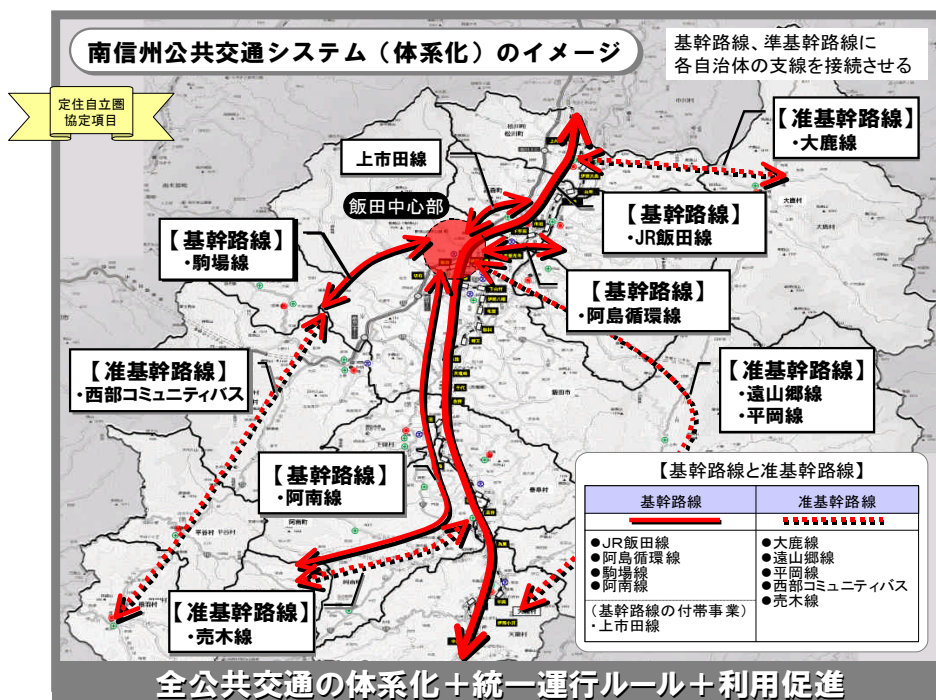
(ア) 地域公共交通ネットワークの構築

広大な面積かつ複雑で急峻な地形の中に集落が散在している当圏域では、公共交通は、地域で安心して暮らしていくために不可欠な社会基盤である。

特に、高齢者や高校生など交通不便者の移動手段について、利便性が高く効率的なアクセス方法を検討・検証しつつ、圏域内の公共交通ネットワークの構築に取り組む。

【形成協定】

南信州地域公共交通総合連携計画に基づき、圏域における公共交通の課題について継続的に調査し、及び検証するとともに、JR飯田線の活用を踏まえたバス路線等の効果的かつ効率的な運行について総合的な調整を行い、圏域内の公共交通ネットワークの構築に取り組む。



公共交通は、地域で安心して暮らしていくために不可欠な社会基盤です。

JR飯田線の活用を踏まえたバス路線等の効果的かつ効率的な運行について総合的な調整を行い、圏域内の公共交通ネットワークの構築に取り組みます。

事業名	乗合タクシー上市田線	関係市町村名
事業概要	飯田市上郷・座光寺、高森町牛牧、上市田のエリアと飯田市中心市街地、市立病院等を結ぶジャンボタクシーによるデマンド交通（北部地域を運行する基幹路線）を運行する。	飯田市 高森町
成果	飯田市の一部を含む北部地域（高森町方面）における公共交通の利便性を確保する。	

事業名	路線バス阿島循環線	関係市町村名
事業概要	飯田市中心市街地・上郷・座光寺、喬木村、飯田市松尾・鼎を結ぶ路線バスによる左右循環路線（北部地域を運行する基幹路線）を運行する。	飯田市 喬木村
成果	飯田市の一部を含む北部地域（喬木村方面）における公共交通の利便性を確保する。	

事業名	路線バス大鹿線	関係市町村名
事業概要	大鹿村大河原・鹿塩から松川町 J R 伊那大島駅・下伊那赤十字病院・松川 I C を結ぶ路線バス（松川町と大鹿村を運行する准基幹路線）を運行する。	松川町 大鹿村
成果	松川町と大鹿村における公共交通の利便性を確保する。	

事業名	豊丘村村営バス（一部）	関係市町村名
事業概要	豊丘村と高森町 J R 市田駅を結ぶ村営バス（堀越線、佐原線、壬生沢福島線、福島線、滝川小園線）及び豊丘村と阿島循環線を結ぶ村営バス（壬生沢線、滝川阿島線）を運行する。	豊丘村 高森町 喬木村
成果	豊丘村から J R 市田駅まで及び阿島循環線までの公共交通の利便性を確保する。	

事業名	路線バス駒場線	関係市町村名
事業概要	阿智村昼神・駒場と飯田市中心市街地・市立病院・飯田高校を結ぶ路線バス（西部地域を運行する基幹路線）を運行する。	飯田市 阿智村
成果	飯田市の一部を含む西部地域（阿智村方面）における公共交通の利便性を確保する。	

事業名	西部コミュニティバス	関係市町村名
事業概要	根羽村から平谷村、阿智村治部坂高原・阿智高校を結ぶ路線バス（西部地域を運行する准基幹路線）を運行する。	阿智村 平谷村 根羽村
成果	西部地域における公共交通の利便性を確保する。	

事業名	平岡線	関係市町村名
事業概要	路線バス平岡線及び乗合タクシー平岡線（飯田市遠山地域と天龍村 J R 平岡駅を結ぶ准基幹路線）を運行する。	飯田市 天龍村
成果	飯田市遠山地域から天龍村の一部を含む J R 平岡駅までの公共交通の利便性を確保する。	

事業名	路線バス遠山郷線	関係市町村名
事業概要	飯田市遠山地域から喬木村氏乗・富田、飯田市中心市街地を結ぶ路線バス（准基幹路線）を運行する。	飯田市 喬木村
成果 飯田市遠山地域から喬木村の一部を含む中心市街地までの公共交通の利便性を確保する。		

事業名	路線バス新阿南線	関係市町村名
事業概要	売木村役場付近から阿南町新野、下条村道の駅を經由し、飯田市立病院・J R 飯田駅・飯田病院を結ぶ路線バス（基幹路線）を運行する。	飯田市 阿南町 下条村 売木村
成果 南部地域から飯田市中心部への公共交通の利便性を確保する。		

事業名	路線バス温田線（売木線）	関係市町村名
事業概要	売木村役場付近から阿南町新野・阿南高校・阿南病院を經由し、泰阜村 J R 温田駅を結ぶ路線バス（准基幹路線）を運行する。	阿南町 売木村 天龍村 泰阜村
成果 売木村から阿南町新野地域、阿南高校、阿南病院を含む J R 温田駅までの公共交通の利便性を確保する。		

事業名	路線バス泰阜線（一部）	関係市町村名
事業概要	泰阜村（田本地区から泰阜村役場付近・金野を經由）から J R 天龍峡駅を結ぶ路線バスを運行する。	飯田市 泰阜村
成果 泰阜村から J R 天龍峡駅までの公共交通の利便性を確保する。		

(イ) 地域情報共有システムの構築

市町村間の住民を含む情報の共有化は、圏域内の連携・協力関係と一体性を高めていくために不可欠である。

行政及び民間事業者が連携し、情報のネットワーク化を推進するとともに、各種 I C Tサービスの基盤となる圏域内の情報プラットフォーム等を整備することにより、住民サービスの高度化を促進し、及び行政業務の効率化を図っていく。

また、緊急時の情報伝達が確実にできるようにするために、様々な情報媒体を活用し、その環境整備と運用を行う。

【形成協定】

【松川町、阿智村、下條村、喬木村、豊丘村】

- (a) 圏域内の防災情報等を電子メールで配信するシステムを構築し、及び運営する。
- (b) 行政、各種団体等が情報を受発信し、圏域住民が各種地域情報を容易に入手できる地域コミュニティサイト及びケーブルテレビによるデータ放送を配信するシステム（データ放送システム）を構築し、及び運営する。

【高森町、阿南町、平谷村、根羽村、売木村、天龍村、泰阜村、大鹿村】

- (a) 圏域内の防災情報等を電子メールで配信するシステムを構築し、及び運営する。
- (b) 行政、各種団体等が情報を受発信し、圏域住民が各種地域情報を容易に入手できる地域コミュニティサイトを構築し、及び運営する。

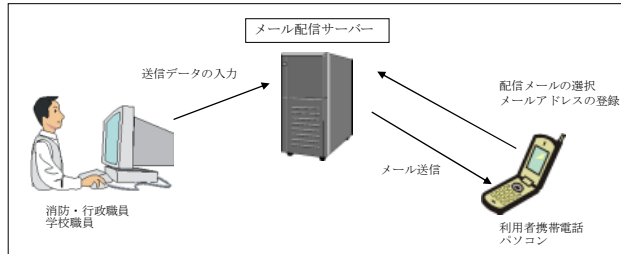
事業名	電子メール配信システムの構築及び運営	関係市町村名
事業概要	飯田市が構築・運用している安心・安全メール配信システムを活用し、圏域全体で防災情報等を電子メールで受け取ることを可能とするシステムを構築する。 主な事業内容 ・火災情報について、現在飯田市が運用しているメール配信システムへの登録を行い、メール配信を受ける。 ・各町村で防災情報や学校連絡情報など、必要なメール配信チャンネルをシステム内に構築し、町村で独自利用を行う。	全市町村
成果	防災情報等を携帯電話等のメールに配信することにより、住民への速やかな情報伝達を実現する。	

事業名	地域コミュニティサイトの構築及び運営	関係市町村名
事業概要	圏域内の地域コミュニティ情報や、サークルや NPO などの地域活動団体等の情報を発信し、圏域内の情報共有を図るため、地域コミュニティサイトを構築・運営する（平成 21 年度にシステムを構築し、平成 22 年度に運用を開始する）。	全市町村
成果	圏域内の市町村、住民団体等による情報発信を可能にするとともに、市町村の枠を越えた様々なレベルの情報共有が可能となる。	

事業名	ケーブルテレビによるデータ放送システムの構築及び運営	関係市町村名
事業概要	<p>地域コミュニティサイトと連携し、行政情報や地域情報をケーブルテレビの自主放送によるデータ放送を利用して情報配信を行い、情報の共有化を図る(平成 21 年度にシステムを構築し、平成 22 年度に運用を開始する)。</p> <p>システムの共同利用に関する研究については、平成 22 年度から実施する。</p>	<p>共同構築 飯田市、喬木村</p> <p>共同利用研究 飯田市、松川町、 阿智村、下條村、 豊丘村</p>
<p>成果</p> <p>地域コミュニティサイト情報(市町村、住民団体等が市町村の枠を越えて発信した情報)を、ケーブルテレビの画面で手軽に閲覧することを可能とする。</p>		

地域情報共有システムの構築

安心・安全メール配信システム・イメージ



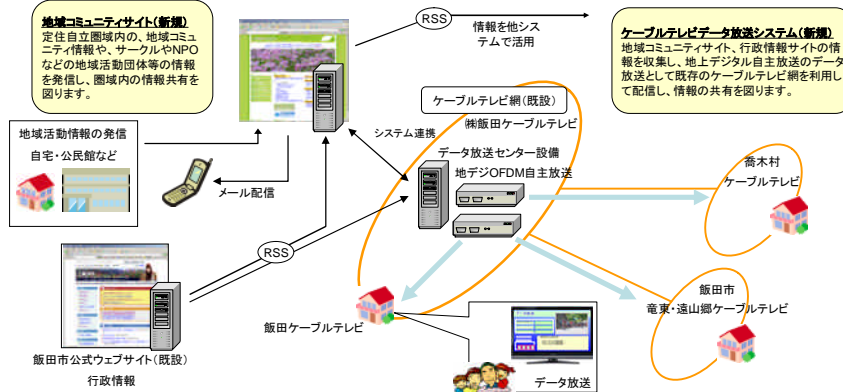
- ・メールアドレスを登録した利用者に、火災情報や行政情報（行方不明者、不審者など）を配信する。
- ・個別利用として小中学校、幼・保育園の連絡用、市町村職員への連絡、消防職員への連絡手段として利用する。
- ・飯田市安心・安全メール配信システムは、飯田市において、平成19年4月より稼働し、平成21年3月末現在で16,610人の利用登録がある。

<運用チャネル>

- 行政情報（「気象・災害・地震」、「事件・事故・犯罪」、「不審者」、「行政一般」選択、居住地区入力）
- 火災情報（市町村選択可）
- 小中学校、幼・保育園 ……行事等連絡用、不審者情報等の配信（学校、園毎）
- 消防関係 ……消防団員、消防職員向けメール配信（団毎）
- 内部連絡 ……市町村職員向けメール配信（市町村毎）

地域コミュニティサイト・ケーブルテレビデータ放送連携システム・イメージ

実施団体名	運営主体(予定)	利活用分野	主なシステム機器等
飯田市、善木村、駒飯田ケーブルテレビ	<ul style="list-style-type: none"> ○データ放送運営 ○駒飯田ケーブルテレビ ○地域コミュニティサイト運営 NPO(公募による) 	地域コミュニティ、医療、介護、福祉、防犯、防災、行政、産業、農業、雇用、観光、環境	地域コミュニティサイト(サーバ機器、ソフトウェア、データベース、通信機器) データ放送(サーバ機器、ソフトウェア、データ放送送出機、OFDM、通信機器、セットトップボックス)
事業概要		期待される効果	
<p>地域コミュニティサイトを構築し、定住自立圏内の地域コミュニティの情報や、NPO等の地域活動団体の情報をウェブサイトから発信し圏域内の情報共有を図る。また、集約された情報（飯田市においては行政CMSから配信される行政情報）は、パソコン等が利用できない高齢者などが利用できるよう、ケーブルテレビの地上デジタル自主放送のデータ放送で配信する。</p>		<p>定住自立圏域内の様々な地域活動に関わる情報が発信されることによって、地域の魅力が高まり、また、情報の共有を図ることで地域のコミュニケーションの活性化や地域活動団体の相互の連携が図られ、生活圏の一体化が醸成されるとともに、安心して定住するための生活の利便性が向上する。</p>	



イ 圏域内外の住民との交流及び移住の促進

圏域内の定住人口を確保し、U I ターン者及び交流人口を増加させるために、飯田市中心市街地等の都市機能の集積及び都市的な魅力の向上を図るとともに、各地域の多様な自然や歴史・文化をいかした観光資源の魅力向上をさせ、にぎわいの創出及び圏域内外の住民との交流を盛んにする取組を行う。

【形成協定】

にぎわい拠点の整備

魅力ある圏域づくりのため、にぎわいの創出及び圏域内外の住民との交流の拠点づくりを進める。

事業名	飯田市中心市街地活性化事業	関係市町村名
事業概要	<p>飯田市中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地活性化の総合的かつ一体的な推進を図り、自立的・持続的な発展に寄与するための各種の取組を行う。</p> <p>飯田市民及び圏域住民の暮らしを支える健康・医療・福祉を増進し、地域資源としてのストック・自然・歴史・文化・環境を活かしたまちづくりを推進し、活力に満ちあふれた経済のダイナミズムを創出する。</p> <p>主な整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地道路整備事業（21～24年度） ・中央公園の再生・整備事業（21～24年度） ・旧飯田測候所活用事業（22～24年度） ・谷川整備事業（21～23年度） ・裏界線活用・整備事業（21～24年度） ・観光案内サイン整備事業（21～23年度） ・御用水再生事業（21～24年度） ・扇町公園（動物園）整備事業（21～24年度）等 <p>主な振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りんご並木賑わいづくり事業（21～24年度） ・文化的・商業的イベント事業（21～24年度） ・観光資源開発とネットワーク事業（21～24年度） ・環境配慮型まちづくり事業（21～24年度）等 	全市町村
成果	圏域内外からの中心的な交流拠点としての魅力を向上させる。	

事業名	飯田市天龍峡活性化事業	関係市町村名
事業概要	<p>天龍峡再生プログラム、名勝天龍峡保存管理計画、名勝天龍峡整備計画に基づき、名勝天龍峡の資源を活用するとともに、圏域南部の新たな玄関口となることも想定し、活性化に向けた取組を行う。</p> <p>主な整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道整備事業（21、23～25年度） ・再生館、交流館等施設整備（21年度） ・ガイドンス施設整備（22年度）等 <p>主な振興事業（21～25年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業活用賑わい創出事業 ・天龍峡再生マネージャー事業等 	飯田市 （関係町村）
成果	三遠南信自動車道天龍峡 IC を中心に、南部地域の玄関口としての魅力を向上させる。	

事業名	信州まつかわ温泉清流苑一帯整備事業	関係市町村名
事業概要	<p>松川町の観光拠点として、清流苑（宿泊施設）を中心とした施設の整備及び維持向上を図る。</p> <p>①清流苑に隣接するむらやま公園（平成 21 年度完成）の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東屋の移転、芝生の整備 <p>②まつかわの里室内プールのリニューアル工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防水塗装工事、ウォータースライダー改修等 	飯田市 松川町
成果	<p>宿泊施設（清流苑）、森林浴（およりての森）及び屋内プール等が一体的に利用できる公園としての魅力を向上させる。</p>	

事業名	「市田柿発祥の里」賑わい創出事業	関係市町村名
事業概要	<p>市田柿の発祥の地であることをモチーフとした整備事業及び振興事業、たかもり温泉の施設の改修、大規模イベント等を行う。</p> <p>[主な整備事業]</p> <p>①市田柿発祥の里（市田柿の原木跡）整備事業（H21）</p> <p>②たかもり温泉施設リニューアル事業（H22～25）</p> <p>[主な振興事業]</p> <p>①市田柿発祥の里推進事業（H21～25）</p> <p>②農家民宿開設支援（H21～25）</p> <p>③市田灯ろう流し大煙火大会支援（H21～25）</p>	飯田市 高森町
成果	<p>市田柿の発祥の地としての知名度を高め、魅力を向上させる。</p> <p>温泉施設の利用環境を改善し、魅力を向上させる。</p> <p>集客力の大きい煙火イベント等により、魅力を向上させる。</p>	

事業名	阿南町農林漁業体験施設整備事業	関係市町村名
事業概要	<p>二地域間居住を可能とする農林業体験交流のための施設等を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農園 35 区画 ・ラウベ(宿泊居住施設) 20 棟 ・農機具等収納施設 1 棟 ・便所 1 棟 ・管理・研修施設 1 棟 	飯田市 阿南町
成果	<p>滞在型農林業体験の交流拠点としての魅力を創出する。</p>	

事業名	昼神温泉活性化事業	関係市町村名
事業概要	<p>昼神温泉の観光資源の質を高めるための取組を行う。</p> <p>①公営保養センター鶴巻荘リニューアル事業</p> <p>②昼神温泉活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観整備、アクセスの整備と活用、ボランティアガイド育成、地域の特長を生かした食の提供等 <p>③(株)昼神温泉エリアサポート支援事業 等</p>	飯田市 阿智村
成果	南信州圏域の宿泊拠点としての魅力の向上、圏域外における認知度の向上を図る。	

事業名	ひまわりの湯・平谷高原スキー場等施設改修事業	関係市町村名
事業概要	<p>平谷村の観光拠点施設であるひまわりの湯、平谷高原スキー場の機能の維持向上を図る。</p> <p>①ひまわりの湯施設改修事業（21～25年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ施設、休憩室、プール外壁等 <p>②平谷高原スキー場施設改修事業（22～25年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフトケーブル張替、レストハウス及び売店等 	飯田市 平谷村
成果	三河方面からの玄関口にある温泉及びスキー場としての魅力を向上させる。	

事業名	ネバーランド周辺景観整備事業	関係市町村名
事業概要	<p>根羽村の観光拠点施設であるネバーランド及び森林資源を生かした周辺の整備及び誘客交流事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道及び林地内整備（21～25年度） ・上下流・県境交流等促進事業 	飯田市 根羽村
成果	三河方面からの玄関口にある観光施設及び森林空間としての魅力を向上させる。	

事業名	賑わい拠点 道の駅下條活性化事業	関係市町村名
事業概要	<p>下條村の観光拠点である道の駅における情報発信機能の強化及びイベント集客等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅施設等の改修・補修（21年度） ・情報コーナー整備事業（22年度） ・お客様感謝ディ事業(全国ローカルヒーロー大集合) 	飯田市 下條村
成果	南部地域の主要な道の駅として情報発信力及び集客力を高め、魅力を向上させる。	

事業名	売木村野外活動体験施設整備事業	関係市町村名
事業概要	<p>うるぎ星の森オートキャンプ場付近の自然空間を生かした素朴なキャンプ場を改修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テントサイト整備 ・バイオトイレ 4箇所 ・炊事場 4箇所 ・水道設備（井戸掘削、井戸用ポンプ4箇所、水道管布設） 	飯田市 売木村
成果	うるぎ星の森オートキャンプ場とともに愛好者の選択肢に対応し、魅力を向上させる。	

事業名	おきよめの湯及びふれあいステーション 龍泉閣活性化事業	関係市町村名
事業概要	<p>天龍村の観光拠点施設を整備するとともに、JR飯田線（秘境駅ローカル線）等を生かした交流拡大の取組を行う。</p> <p>主な整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①おきよめの湯改修整備事業（21～25年度） ②おきよめの郷再生整備事業（22～23年度） ③ふれあいステーション龍泉閣改修整備事業（23～24年度） <p>主な振興事業（各年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①飯田線等誘客イベント <p>※JR飯田線（秘境駅ローカル線）など秘境を活かして他市町村から呼び込む交流事業を対象とする。</p>	飯田市 天龍村
成果	天竜川のV字渓谷に囲まれた県境の純山村にふれる機会を創出し、魅力を向上させる。	

事業名	泰阜村賑わい創出事業	関係市町村名
事業概要	<p>JR飯田線（秘境駅ローカル線）金野駅を生かしつつ、自然農法に取り組むNPO組織を中心とした観光活性化のために必要な整備及びあいパークやすおかの機能の維持向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①通年合宿施設の整備 1棟2戸 ②「森のレストラン」の整備（H22） ③遊歩道の整備（H23） ④あいパークのバターゴルフ、花木園の機能の維持向上 	飯田市 泰阜村
成果	天竜峡谷と秘境駅をバックボーンとした自然農法による農産物や食事を提供し、魅力を向上させる。	

事業名	喬木村賑わい拠点整備事業	関係市町村名
事業概要	<p>たかぎ農村交流センターを交流拠点とした日帰り農業観光をベースとして、滞在型農業観光へと交流を拡大するための取組を行う。</p> <p>主な整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラインガルデン設置事業（22年度）5区画×2箇所 <p>主な振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちご狩りをはじめとした農業観光事業（21年度～） ・農家ホームステイ事業（21年度～） 	飯田市 喬木村
成果	中心市に隣接した農業観光スポットとして来訪者の選択肢に対応し、魅力を向上させる。	

事業名	豊丘村賑わい創出事業	関係市町村名
事業概要	<p>味覚狩りをベースとして新たな観光資源・ルートを開発し、交流拡大するために必要な整備事業及び振興事業を行う。</p> <p>①堀越松茸観光拠点にあるマレットゴルフ場（18ホール）の整備</p> <p>②NPO法人交流センターだいちによる観光開発の支援及び必要な整備（味覚狩り・農家ホームステイへの支援、虻川溪谷にある日本一（自称）のポットホール付近の遊歩道整備（H22年度））</p> <p>③豊丘セミナーハウスを活用した農家レストランの開設、周辺農地の市民農園化</p>	飯田市 豊丘村
成果	味覚狩りをベースとし、中央アルプスを一望できる高台の景観スポットを生かしつつ、魅力を向上させる。	

事業名	大鹿村賑わい創出事業	関係市町村名
事業概要	<p>南アルプス、大鹿歌舞伎など自然歴史遺産をバックボーンとした交流人口の拡大等の取組を行う。</p> <p>①大西公園整備事業</p> <p>赤石岳と山村景観を望む大西公園の整備と隣接する中央構造線博物館周辺の整備による交流拠点整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園整備 1.8ha（駐車場、遊歩道、吊橋等） <p>②大鹿歌舞伎伝承支援事業</p> <p>③大鹿村中央構造線観察地整備事業（H22～H24）</p> <p>南アルプスジオパークである中央構造線観察地に解説看板の設置し、中央構造線に関わる地域資源を情報発信する。</p>	飯田市 大鹿村
成果	圏域外に広く通用する自然や歴史のロマンを生かした魅力を向上させる。	

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

人材育成等

圏域の市町村職員等が、時代や社会の変化を的確に捉え、質の高い地域マネジメントを行うために、市町村職員間の相互研鑽をはじめ政策立案能力を高める各種の取組を行う。

また、圏域内における生活機能の強化及び結びつきやネットワークの強化を推進するために、必要に応じて、高度で専門的な知識・技術等に精通したエキスパートを圏域外から招へいし、圏域内の人的・物的資源とマッチングさせる取組を行う。

【形成協定】

人材育成等

職員の資質向上及び圏域マネジメント能力を強化するため、合同研修、圏域外の専門家の招へい等を行う。

事業名	合同専門研修	関係市町村名
事業概要	飯田市等が実施する研修において、町村等にとって有益なものについて、町村職員等の参加の機会を設ける。 ・環境、法務、財務会計、税務、まちづくり・人づくり、産業振興、防災等	全市町村
成果	関係市町村の職員の交流を図るとともに、基礎自治体の職員として必要な専門知識等を効率的・効果的に習得する。	